

研究実施のお知らせ

2021年07月19日 ver.1.2

研究課題名

骨シンチ定量解析の研究

研究の対象となる方

2015年1月から2021年7月の間に島根大学医学部附属病院で骨シンチの検査をされた方

研究の目的・意義

骨シンチには定量的に解析する方法があり、その定量値（BSI）は治療効果判定の一助となっています。このBSIを求める方法が新たに発表された為、従来法と比較する必要があります。新旧の手法でBSIに差が生じないことを確認してから臨床に使用することが重要で、信頼できる結果を提供するのが目的です。

研究の方法

骨シンチグラフィは ^{99m}Tc -HMDP や ^{99m}Tc -MDP の放射性医薬品を用いた骨の画像診断で、転移性および原発性の骨腫瘍、骨外傷、代謝性および炎症性骨疾患などの診断を目的に行われる核医学の検査です。この2種類の製剤での定量解析が同じ結果になるか否かを比較研究します。解析法は同じ画像情報を持つ2種製剤での骨シンチ画像に解析を加えて定量値を上昇させ両解析法で同じように異常値を示すか調べます。値が異なれば、その原因を明らかにして正しい臨床利用を行います。

使用する骨シンチデータは80例で、個人が特定できないようデータを匿名化した状態で扱います。

今回使用させていただくのが骨シンチグラフィの画像と、使用するデータの身長、体重、年齢、病態情報です。

研究の期間

2020年04月～2021年12月

コロナ感染拡大防止対策のため様々な研究作業に遅れを生じました、つきましては当初予定していた研究終了期間を2020年から1年延長させていただき2021と致します。ご協力の程 宜しくお願い申し上げます。

研究組織

この研究は島根大学医学部放射線医学講座が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：山本泰司

島根大学医学部放射線医学講座

参加研究機関

[研究機関]

島根大学医学部放射線医学講座

[研究責任者]

山本泰司

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

利用停止のお申し出は、2021年10月25日までにご本人または代理人の方からいただければ利用を停止することができますが、それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

研究責任者：山本泰司

島根大学医学部放射線医学講座

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-5702 FAX 0853-20-2385